

れいはいはさいこうのしゅくぶく



わたしを あいしてくださる かみさまに  
さいこうの えいこうを ささげましょう



## ダビデの せいねん じだい



いのり

しかいしゃ

しとしんじょう

みんなで

さんび

さんびか 410 ばん (なにゆえみかみは) けいやくトレイン(2020 ねんこどもさんび)



せいしよ

I れきだいし 29:10~14

詩篇14:1 愚か者は心の中で、「神はいない」と言っている。彼らは腐っており、忌まわしい事を行なっている。善を行なう者はいない。



みことば

ダビデの せいねん じだい

しかいしゃ

ゴリヤテに勝ったダビデをサウル王はねたみしました。イスラエルの民はダビデがとても好きでした。サウル王は、ダビデに王の座を奪われると思って、恐れたのです。それゆえ、サウル王は、ダビデを危険な戦場に送ってしまいました。ところが、ダビデは戦争に勝って帰ってきました。サウル王は、そのようなダビデを槍を投げて殺そうとしました。このときから、ダビデのサウル王から逃げる生活が始まりました。逃げ回っているとき、からだは大変な思いをしましたが、救いの神様を味わって幸せでした。

私に問題が起きることもあります。私の環境がよくないこともあります。しかしそのときがキリストの幸せの奥義を発見するいちばんよい時間だという事実を忘れないでいましょう。



いのり

いっしょに おおきなこえて  
いのりましょう

かみさま、ありがとうございます！すべての じけん、もんだいの なかでも わたしと ともに  
おられる かみさまを しあわせに あじわう ちからを ください。いきておられる  
イエス・キリストの おなまえによって おいのりします。アーメン

しゅのいのり

いっしょに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう



フォーラム

きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう



まいにち  
✓チェックしよう

げつよう

かよう

すいよう

もくよう

きんよう

どよう

133とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば  
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。

20

げつようび

あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。  
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん  
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

**おろかもものは**

**こころの なかで、**

**「かみは いない」と**

**いっている。**

**かれらは くさっており、**

**いまわしい ことを**

**おこなっている。**

**ぜんを おこなう ものは**

**いない。**

しへん 14 へん 1 せつの みことば



サウルおうは なにも わるいことを していない ダビデを ころそうと  
こうげき しました。しかし ダビデは じぶんと ともに おられる  
かみさま だけに しゅうちゅうしました。したの えの あいている  
ところに あう えを つぎの ページから きりとって はって  
まいにち しゅうちゅう しなればば ならないことを かんがえましょう。

じゅんびする もの： はさみ のり つぎのページ



★ふろく★

✂ はさみで きりましょう





きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。  
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど  
かんがえてみましょう。  
じゅうような たんごを なぞって かきましょう。

わたしに もんだいが おきることも あります。

わたしの かんきょうが よくないことも

あります。しかし そのときが

キリストの しあわせの おくぎを

はっけんする いちばん よい じかんだ

という じじつを

わすれないで きましょう。



かくれている えを みつけたり きれいに いろを  
ぬったり しましょう



もくようび

しへん 23へんの みことばを パパとママと いっしょに よんで  
みましょう。 わたしたちにとっても ひつじかいである かみさまで  
あることを かんがえましょう。 したの えを かんせいさせて  
いろを ぬって かみさまに かんしゃの いのりを しましょう。



パパとママと いっしょに おはなしして  
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを  
えで ひょうげんしましょう。

だれかが わたしを いじめたことは ありますか。 つらいことが  
ありますか。 ころろが いたくなる ことは ありますか。  
かみさまが そのような ときに わたしに ねがって おられることは  
なんでしょうか。 かぞくと いっしょに はなしを して えか  
じで ひょうげんしましょう。





たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを  
こころに きざみましよう



わたしは かみさまと ともに けいやくの りよていを あゆんでいく  
しあわせな レムナントです。 つぎのページからの せいしょどうわ  
「ダビデのおはなし」を よみながら ダビデに いいたいことを  
いいましよう。わたしに いわれることも かんがえましよう。

じゅんびするもの | つぎのページからの ダビデのおはなし

## せいしょどうわを よんで しゅじんこうに こえを かけよう!



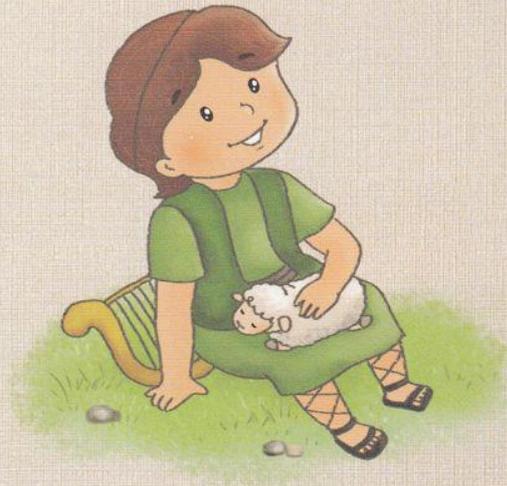
1. せいしょどうわを よみます
2. しゅじんこうに いいたい ことばを かんがえましよう
3. ふさわしい ときに しゅじんこうに こえを  
かけましよう
4. しゅじんこうは わたしと おかあさんに なにを  
いってくださいか
5. かみさまに かんしゃの いのりを して おわりましよう。



パパとママと よむ せいしょうどうわ

かみさまと ともに いた せいしょうの じんぶつ

# ダビデ



こんにちは ほくは ダビデ！  
ほくは のはらで ひつじを かう しごとを していたんだ。  
あるひ サムエルさいしちょうが ほくに あぶらを そそいで  
けいやくを つたえて くれたんだ。 そのあと どんな ことが  
おきたのか しりたいでしょう。  
これから ほくの はなしを きいてね！

ほぐを ころそうと する サウルおうから にげて  
ながい どうぼうしや せいかつが はじまりました。  
そのなかで ほぐに したかう ひどが  
600 にんも あつまりました。



ほぐは あらのや やまの なかに かぐれたのですが  
サウルおうは あきらめないで ほぐを さがしにきました。  
しかし いつも かみさまは ほぐを  
サウルおうの てから まもってくださいました。



あるひ ぼくが エン・ゲデインの あらのの ほらあなの なかに かぐれていたら  
サウルおうが ほらあなの なかに はいって きたのです！  
ぼくたちは ほらあなの おくふかくに かぐれていたの  
さいわいなことに サウルおうは きづきませんでした。

「いまこそ かみさまが くださった ぜっこうの きかいです！  
サウルを ころしましょう！」

ぼくの ふかたちは いったのですが ぼくは それは できませんでした。

ぼくは しずかに ちかづいて

サウルおうの うわぎの すそを きりとりました。

そして ふかに いいました。

「しゆに あぶら そそがれた おうを  
わたしが こすことは できない！  
かれは しゆに あぶら そそがれた かただから」

すこし してから

なにも しらずに サウルおうは ほらあなの そとに できました。  
ぼくは どおざかって いく サウルおうに よひかけて いいました。

「おうさま！

わたしの てに ある

あなたの うわぎの すそを ごらんください。

わたしは おうに つみを おかした ことは ありません。

しゆが わたしと おうの あいだを

さばいてくださるでしょう。

わたしは これからも おうを ころすことは ありません！」

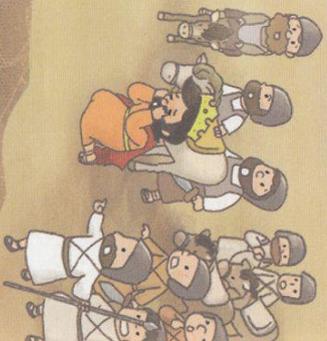
そのあとにも ほくは サウルおうを ころすことが できる

きかいが あったのですが

おうの やりと みざしを とってききましたが

おうは ころしませんでした。

ほくは かみさまの けいやくを しんじたのです。



けつきよく かないい しらせを ききました。

ペリシチが イサエエルを こうげきしてきた とき  
サウルおうと ヨナタンが しんだと いうことでした。

ほくは とても かなしくて なにも たべられなく なり

かれらの ために なきました。



とうとう ぼくは すべての イスラエルを  
おさめる おうに なりました！  
ぼんぐんの しゅは いつも ぼくと  
ともに いて ぐださったので  
ぐには だんだん つよくなりました。



そして エルサレムに あった シオンのまちを  
ぼくの まちに して  
かみさまの けいやくの はこを はこんで きました。  
かみさまの けいやくの はこが まちに はいって きたとき  
ぼんとうに うれしかったです。  
そのひ ぼくは かみさまの まえで ちからを つくして  
はねて よろこび おどったのです。

